

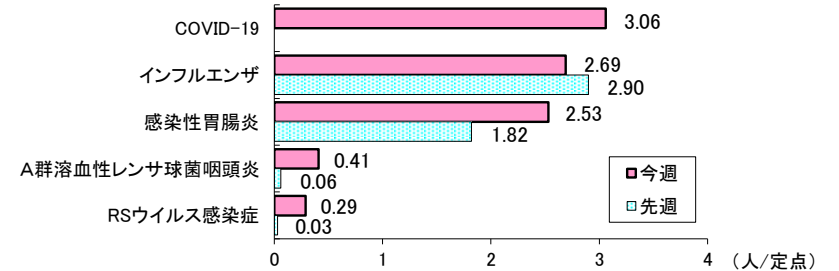


【第19週の発生動向】

＜定点把握対象疾患(週報)・前週比＞

- COVID-19※は、今週から定点把握対象疾患に追加となりました。秋田県全体の定点あたり患者報告数は3.06(人/定点)で、全ての保健所管内から報告がありました。
- インフルエンザは、県全体で7%減少しています。保健所別では、北秋田、能代、大仙、横手、湯沢で増加、秋田市、大館、秋田中央、由利本荘で減少しています。
- 感染性胃腸炎は、県全体で1.4倍に増加しています。保健所別では、大館、北秋田、能代、由利本荘、大仙、湯沢で増加、秋田市、秋田中央、横手で減少しています。

秋田県の定点医療機関における上位5疾患の発生規模



＜定点把握対象疾患(週報)＞

(人/定点)

疾患名	秋田県			秋田市			大館			北秋田			能代			秋田中央			由利本荘			大仙			横手			湯沢		
	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減	第18週	第19週	増減
インフルエンザ	2.90	2.69	↘	6.73	3.45	↘	6.67	4.00	↘		1.33	↗	3.25	6.25	↗	0.83	0.67	↘	0.50	0.33	↘	0.86	3.29	↗	0.60	1.00	↗	1.75	3.75	↗
COVID-19		3.06			2.91			1.50			6.67			1.75			2.33			3.83			2.71			3.00			5.00	
RSウイルス感染症	0.03	0.29	↗		0.14	↗		0.50	↗				0.33	0.33			1.50	↗												
咽頭結膜熱	0.06	0.03	↘	0.29		↘																0.25	↗							
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.06	0.41	↗	0.14	0.14						2.00	↗				0.25	↗			0.25	↗		0.25	↗	0.33	1.33	↗		0.67	↗
感染性胃腸炎	1.82	2.53	↗	5.00	4.29	↘	0.75	1.50	↗		0.50	↗	1.33	4.67	↗	1.00	0.75	↘		1.50	↗	1.25	3.25	↗	1.67	1.00	↘	2.00	3.33	↗
水痘	0.15	0.12	↘	0.57	0.29	↘	0.25		↘					0.33	↗													0.33	↗	
手足口病		0.03	↗																											
伝染性紅斑																														
突発性発しん	0.12	0.15	↗	0.14	0.29	↗		0.25	↗											0.25	↘	0.25	0.50	↗				0.33	↘	
ヘルパンギーナ		0.03	↗																	0.25	↗									
流行性耳下腺炎		0.03	↗																	0.25	↗									
川崎病		0.06	↗																			0.25	↗		0.33	↗				
急性出血性結膜炎										*	*		*	*		*	*										*	*		
流行性角結膜炎	0.17		↘	0.50		↘				*	*		*	*		*	*									*	*			
細菌性髄膜炎																*	*													
無菌性髄膜炎																*	*													
マイコプラズマ肺炎																*	*													
クラミジア肺炎(オウム病を除く)																*	*													
感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)																*	*													

(注) ・表の数値は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値(定点あたり患者報告数)を示し、前週と比べて「↗」は増加を、「↘」は減少していることを示します。
 ・今週の保健所別患者報告数、定点医療機関数などは2ページに掲載しています。
 ・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。
 ※ 2023年5月8日から「新型コロナウイルス感染症(病原体がベータコロナウイルス属のコロナウイルス(令和二年一月に中華人民共和国から世界保健機関に対して、人に伝染する能力を有することが新たに報告されたものに限る。))」(COVID-19)が定点把握対象疾患となりました。



【第19週の保健所別報告数】

<患者報告数>

定点種別	疾患名	秋田県		秋田市		大館		北秋田		能代		秋田中央		由利本荘		大仙		横手		湯沢		
		患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	患者報告数	定点あたり患者報告数	
インフルエンザ/ COVID-19定点	インフルエンザ	140	2.69	38	3.45	24	4.00	4	1.33	25	6.25	4	0.67	2	0.33	23	3.29	5	1.00	15	3.75	
	COVID-19	159	3.06	32	2.91	9	1.50	20	6.67	7	1.75	14	2.33	23	3.83	19	2.71	15	3.00	20	5.00	
小児科定点	RSウイルス感染症	10	0.29	1	0.14	2	0.50			1	0.33	6	1.50									
	咽頭結膜熱	1	0.03													1	0.25					
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	14	0.41	1	0.14			4	2.00			1	0.25	1	0.25	1	0.25	4	1.33	2	0.67	
	感染性胃腸炎	86	2.53	30	4.29	6	1.50	1	0.50	14	4.67	3	0.75	6	1.50	13	3.25	3	1.00	10	3.33	
	水痘	4	0.12	2	0.29					1	0.33									1	0.33	
	手足口病	1	0.03																1	0.33		
	伝染性紅斑																					
	突発性発しん	5	0.15	2	0.29	1	0.25									2	0.50					
	ヘルパンギーナ	1	0.03											1	0.25							
	流行性耳下腺炎	1	0.03											1	0.25							
	川崎病	2	0.06													1	0.25	1	0.33			
眼科定点	急性出血性結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*	
	流行性角結膜炎							*	*	*	*	*	*							*	*	
基幹定点	細菌性髄膜炎											*	*									
	無菌性髄膜炎											*	*									
	マイコプラズマ肺炎											*	*									
	クラミジア肺炎(オウム病は除く)											*	*									
	感染性胃腸炎(ロタウイルスによるもの)											*	*									

* 定点あたり患者報告数(人/定点)は、1週間(月～日曜日)のうち定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。

・「*」印は、当該疾病に関わる定点医療機関が指定されていないことを、空欄は当該週における患者の報告がなかったことを示します。

<定点医療機関数>

定点種別	秋田県	秋田市	大館	北秋田	能代	秋田中央	由利本荘	大仙	横手	湯沢
インフルエンザ/COVID-19定点	52	11	6	3	4	6	6	7	5	4
小児科定点	34	7	4	2	3	4	4	4	3	3
眼科定点	7	3	1	0	0	0	1	1	1	0
基幹定点	8	1	1	1	1	0	1	1	1	1



<全数把握対象疾患>

類型	疾患名	1週-18週		19週
		全国	秋田	秋田
一類	エボラ出血熱			
	クリミア・コンゴ出血熱			
	痘そう			
	南米出血熱			
	ペスト			
	マールブルグ病			
	ラッサ熱			
二類	急性灰白髄炎			
	結核	4316	21	
	ジフテリア			
	重症急性呼吸器症候群			
	中東呼吸器症候群			
	鳥インフルエンザ(H5N1)			
	鳥インフルエンザ(H7N9)			
三類	コレラ	1		
	細菌性赤痢	9		
	腸管出血性大腸菌感染症	372	2	
	腸チフス	14		
四類	E型肝炎	199	1	
	ウエストナイル熱			
	A型肝炎	22	1	
	エキノкокクス症	4		
	黄熱			
	オウム病	2		
	オムスク出血熱			
	回帰熱	1		
	キャサヌル森林病			
	Q熱			
	狂犬病			
	コクシジオイデス症	1		
	サル痘	125		
	ジカウイルス感染症			
	重症熱性血小板減少症候群	35		
	腎症候性出血熱			
	西部ウマ脳炎			
	ダニ媒介脳炎			
	炭疽			
	チクングニア熱	1		
	つつが虫病	70		1
	デング熱	22		
	東部ウマ脳炎			
	鳥インフルエンザ(H5N1, H7N9を除く)			
	ニパウイルス感染症			

類型	疾患名	1週-18週		19週
		全国	秋田	秋田
四類	日本紅斑熱	43		
	日本脳炎			
	ハンタウイルス肺症候群			
	Bウイルス病			
	鼻疽			
	ブルセラ症			
	ベネズエラウマ脳炎			
	ヘンドラウイルス感染症			
	発しんチフス			
	ボツリヌス症			
	マラリア	6		
	野兔病			
	ライム病			
	リッサウイルス感染症			
五類	リフトバレー熱			
	類鼻疽			
	レジオネラ症	455	4	
	レプトスピラ症	3		
	ロッキー山紅斑熱			
	アメーバ赤痢	173		
	ウイルス性肝炎(E型及びA型を除く)	89	1	
	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	604	7	
	急性弛緩性麻痺(急性灰白髄炎を除く)	17		
	急性脳炎	156		
クリプトスポリジウム症	2			
クロイツフェルト・ヤコブ病	49			
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	290	3		
後天性免疫不全症候群	305	1		
ジアルジア症	19	1		
侵襲性インフルエンザ菌感染症	123	2		
侵襲性髄膜炎菌感染症	5			
侵襲性肺炎球菌感染症	601	5		
水痘(入院例に限る)	112	1		
先天性風しん症候群				
梅毒	4869	13		
播種性クリプトコックス症	68			
破傷風	18			
バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症				
バンコマイシン耐性腸球菌感染症	54			
百日咳	202			
風しん	4			
麻しん	4			
薬剤耐性アシネトバクター感染症	5			

<全数把握対象疾患>

・四類感染症のつつが虫病が由利本荘保健所管内から1人、報告されました。

つつが虫病情報

つつが虫の発生報告が1件ありました。

事例No.	管轄保健所	年齢	性別	診断日	症状	感染要因(推定)
1	由利本荘	70代	女性	5/11	発熱、発疹、全身倦怠感、悪心・嘔吐、刺し口(左肘高部)	山菜採り

今年初めてのつつが虫の患者報告がありました。秋田県では、特に5～6月の新緑の頃につつが虫の報告が多くなります。農作業、山菜採りや魚釣りなどの野外活動で感染する機会が多いため、これらの活動をする際は長袖、長ズボンを着用するなどして、できるだけ素肌を出さないようにしましょう。また、野外活動から帰宅した後は、すぐに入浴して体を入念に洗い、着ていた衣類は室内に持ち込まない、またはすぐに洗濯しましょう。

感染症の集団発生報告

感染性胃腸炎1件の集団発生報告がありました。

管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	症状	備考
			利用者(園児、入所者等)	職員	計			
秋田中央	教育・保育施設	5/12	116名のうち10名	43名のうち2名	12名	5/9～5/12	嘔吐、下痢、発熱	

※2023年第19週(5月8日～5月14日)以降、「管轄保健所」、「施設種別」での公表に変更となりました。

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。

※インフルエンザの集団発生報告は4ページに、COVID-19の集団発生報告は5ページに掲載しています。

※「新型コロナウイルス感染症」は、2023年5月8日から定点把握対象疾患となったため、この表から除外されました。



2022年/2023年シーズン（2022年第36週：9月5日～） インフルエンザ情報

定点あたり患者報告数の推移(インフルエンザサーベイランス)

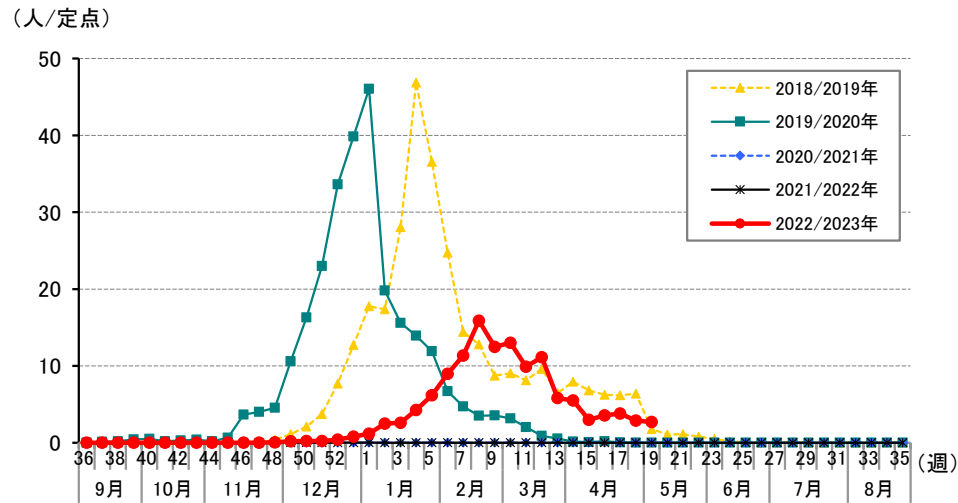


図 秋田県におけるインフルエンザの定点あたり患者報告数

インフルエンザ入院サーベイランス

表 インフルエンザによる入院患者報告数(人)

2022年36週～2023年18週		2023年19週
全国	秋田県	秋田県
2973	62	2

※入院サーベイランスの患者報告数は、秋田県内8か所、全国約500か所の基幹定点医療機関からの報告です。

社会福祉施設等におけるインフルエンザ集団発生状況

インフルエンザによる集団発生の報告はありませんでした。

【今シーズンの累計報告数】 88施設（教育・保育施設85、社会福祉施設1、高齢者施設1、病院1）

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

※「教育・保育施設」とは幼稚園、保育所、認定こども園等を指します。



2023年度 COVID-19情報

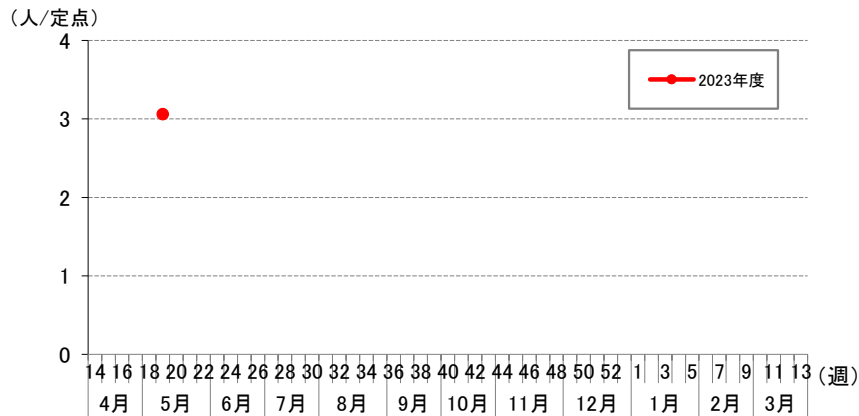


図1 秋田県におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

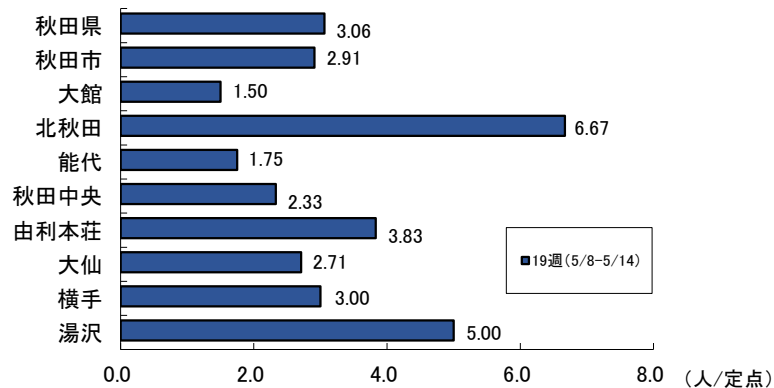


図2 秋田県各保健所におけるCOVID-19の定点あたり患者報告数

社会福祉施設等におけるCOVID-19の集団発生状況

No	管轄保健所	施設種別	報告日	有症者数			把握期間	症状
				利用者(園児、入所者等)	職員	計		
1	北秋田	高齢者施設	5/9	26名のうち 7名	15名のうち 4名	11名	5/2 ~ 5/9	発熱、咳
2	秋田市	高齢者施設	5/12	31名のうち 8名	18名のうち 2名	10名	5/3 ~ 5/11	下痢、発熱、咳
3	湯沢	高齢者施設	5/13	26名のうち 13名	18名のうち 0名	13名	5/10 ~ 5/13	咽頭痛、鼻汁

【2023年度(5月8日～)の累計報告数】3施設(高齢者施設3)

※社会福祉施設等における、原則、10人以上または利用者の半数以上の発生報告です。

・定点あたり患者報告数は、1週間のうち(月～日曜日)定点医療機関から報告された患者数を定点医療機関数で割った値を示します。
 ・保健所別患者報告数、定点医療機関数は2ページに掲載しています。



【注意報・警報の発生状況】

疾患名	注意報	警報
	保健所(発生規模)	保健所(発生規模)
注意報・警報はありません。		

■ 注意報・警報の定義

【注意報・警報の定義】

- 1) 注意報: 流行の発生前であれば今後4週間以内に大きな流行が発生する可能性があることを示し、流行の発生後であればその流行がまだ終わっていない可能性がある(終息していない)ことを示します。
- 2) 警報: 大きな流行の発生・継続が疑われることを示します。

対象疾患	注意報		警報		対象疾患	注意報		警報	
	基準値(人/定点)	開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)	基準値(人/定点)		開始基準値(人/定点)	継続基準値(人/定点)		
インフルエンザ	10	30	10	伝染性紅斑	-	2	1		
咽頭結膜熱	-	3	1	ヘルパンギーナ	-	6	2		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	-	8	4	流行性耳下腺炎	3	6	2		
感染性胃腸炎	-	20	12	急性出血性結膜炎	-	1	0.1		
水痘	1	2	1	流行性角結膜炎	-	8	4		
手足口病	-	5	2						

■ 保健所地域

保健所	所管市町村	保健所	所管市町村
大館保健所	大館市、鹿角市、小坂町	由利本荘保健所	由利本荘市、にかほ市
北秋田保健所	北秋田市、上小阿仁村	大仙保健所	大仙市、仙北市、美郷町
能代保健所	能代市、藤里町、三種町、八峰町	横手保健所	横手市
秋田中央保健所	男鹿市、潟上市、五城目町、八郎潟町、井川町、大潟村	湯沢保健所	湯沢市、羽後町、東成瀬村
秋田市保健所	秋田市		